



広報

みまた

59/12月号

発行
昭和59年12月1日
(第186号)
宮崎県北諸県郡三股町
編集 職員課
電話 52~1111



今月の主な行事

- 12月4日(火) 高血圧者学級 (中央公民館)
- 6日(木)~7日(金) 乳ガン検診 (中央公民館)
- 10日(月) 無料人権相談 (老人福祉センター)
- 14日(金) 妊婦・乳児検診(中央公民館)
- 20日(木) 1歳6ヶ月児検診(中央公民館)
- 25日(火) 育児検診 (中央公民館)

就学前の児童が健康診断

町教委では、来年に小学校へ入学する児童325名の健康診断(内科・歯科・視力測定など)を、11月16日から29日まで、各小学校で行いました。

これは、適正な就学指導を行うためのものです。児童たちは始めて教室に入り、緊張した面持ちで検診を受けていました。

元気で入学し、楽しい学校生活を送ってほしいものです。

(写真は梶山小)

文化賞二名・功労賞二名と一団体が受賞

たゆみない努力をたたえ表彰



受賞者を代表してお礼を述べられる補見氏

町文化賞・功労賞は、町政の発展、教育文化の向上、産業の振興、福祉の増進など、それぞれの分野で活躍された方々に贈られるもので、昭和五十九年度の受賞者への表彰式が、十一月三日役場大会議室で行われました。

文化の日に、来賓各位のご臨席の上で表彰を賜りましたことは、身に余る光栄です。私たちがそれぞれ与えられた任務を大過なく、すこし得ましたことは、皆様からの暖かいご指導とご協力によるものであり、感謝にたえません。本日の感激を肝に銘じて、更に町政発展と地域社会の発展に微力ながら尽力したいと、お礼を述べられました。

補見 吉雄氏 文化賞 (寺柱)

氏は、昭和三十七年五月から同四十五年九月までの八年余り、町助役として町行政の推進と町政発展に尽力され、また、昭和四十六年四月から同五十四年三月までの八年間町議会議員、その間、議長をはじめ各種委員会委員の要職を歴任、高邁な識見と卓越した政治手腕を発揮され、地方自治の高揚に努められました。

五十八年三月までの十二年間、都城地区交通安全協合理事および三股支部長として、交通事故防止と協会の育成発展にも鋭意努力されました。

また、本町の長期施策の大綱を示す、町総合計画の審議会長としてその大任を果されるなど、町政の伸展と住民の福祉向上に輝かしい業績をあげられました。

籾 清 氏 文化賞 (前目)

氏は、若いときから焼物陶器づくりに手掛けられ、六十二年間にわたり古来から伝わる日本独特の手揉る式で、へら等を使用して形をつくり、登窯で焼成加工する技法を用いられ、その焼は長年培われた経験と勤により、非常に美しい独特の表面の仕上げを見せております。



受賞者記念撮影(前列左から柳橋、補見、町長、籾、福田、桑畑氏)

柳橋 国彦氏 功労賞 (勝岡)

氏は、昭和四十六年四月から同五十九年三月までの十三年間、公民館部長及び地区公民館長をはじめ、郡公民館連協長、青少年育成町民会議会長などの要職にあり、公民館全般にわたる実践活動はもとより、青少年の健全育成、交通事故防止などに積極的に取り組まれ、地域住民の生活、文化の振興発展に貢献され、その奉仕的活動は他の模範とするところであります。

第七地区棒踊り保存会

功労賞 社会部門

代表 桑畑 安男氏

新馬場の棒踊りは約二百年余りの伝統を有し、保存会と青年会員によって伝承活動に努力されており、昭和五十六年度第三十回全国青年大会芸能の部に県代表として出場し、最優秀賞を獲得されたのをはじめ、県内の各種民族芸能発表会にも積極的に参加されております。また、本年度は三股中の生徒にも棒踊りを指導され、体育祭で発表するなど、本町の伝統芸能継承に貢献されております。

有意義だった町文化祭



健康相談(血圧測定)

町文化祭は、十一月三日、四日の二日間、中央公民館を中心に盛大に開催されました。

会場には、園児たちや婦人会、愛好者、老人クラブなどによる作品一千五百七十点が展示され、各会場とも大変なご来客をみせました。



防犯(覚せい剤写真展)



勝岡地区の盆栽展



新馬場地区の菊・盆栽展



老人クラブ作品展



商工会による商品展示即売会



児童作品展



短歌会等の作品展

めざましくシートベルト着用 宮崎県一!!

本町では、「シートベルト着用宮崎県一」をスローガンに、十一月一日から昭和六十年三月三十一日までの五ヶ月間を、シートベルト着用強化期間として推進運動が行われています。

この運動は、運転者一人ひとり、が車に乗ったらシートベルトを着



シートベルトを着用し安全運転を

用する習慣と定着化を推進し、併せて、交通安全意識を高めようとするものです。

シートベルト着用 推進会議を開催

万が一交通事故に遭った場合、被害の防止と、軽減に大きな役割を果たすシートベルト着用の推進をはかるため、去る十月二十三日中央公民館でシートベルト着用推進会議を開催しました。

会議には、町内の各事業所や地区公民館長をはじめ、各種団体の代表者など約八十名が参加。まず町長が「車社会の今日、交通事故による町民の生命身体への脅威は、年々増加するばかりであります。町民一人ひとりが交通ルールとマナーを守り、交通事故の加害者・被害者とならないよう安全運転に心掛けたいものです。」と挨拶を述べました。

その後、都城警察署長の今村正一郎氏の挨拶のあと、交通官岩田卯吉氏より交通事故の現況説明（シートベルト着用と未着用者の交通事故による被害例など）が行

われました。

引き続き、各事業所を代表して淵脇組と五十嵐陸材の安全運転管理責任者による「我が社の交通安全管理について」と題して、交通安全とシートベルト着用実践活動についての事例が発表され、参加者に深い感銘を与えました。

最後に、公民館連協長の森保正氏が「年々増加の傾向にある悲惨な交通事故の防止に総力を結集するとともに、被害軽減効果の高いシートベルト着用の推進運動に積極的に取り組む」と、シートベルト決議文を朗読されました。

シートベルトの着用効果

安全へのバスポート、であり命綱、といってもいいシートベルトの効果を見てみましょう。

- 衝突事故でフロントガラスや車の突起物に頭部や胸部を強く打つことを防ぎます。
 - 衝突時のショックによつて起こる、車外放出を防ぎます。
 - 転落時には、ショックで気絶したり負傷したりすることを防ぎ、自力で脱出やすくなります。
 - 体がしっかり固定されることから運転に注意力が集中し、疲労が軽減されます。
- 交通事故の際、シートベルトが

教育委員に 今村武秋氏を再任 中村英藏氏を再任

九月議会で同意



中村 英藏氏



今村 武秋氏

員（文教厚生、建設副委員長などを歴任）として、地方自治の発展に尽力された方でありました。一方、任期満了となられる教育委員には、中村英藏氏（七十三歳）が再任されました。

中村氏は、昭和二十七年から通算二十年教育委員として、教育行政進展のため尽力いただいている方であります。

また、前教育委員玉利祐一氏（七十五歳）は、昭和四十三年から十六年間にわたり、委員および委員長として、教育文化の向上に多大の貢献を賜りました。長い間、誠意がありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

火の元に注意を

火災予防

これから寒くなるシーズンを迎へ、火や暖房器具を扱う機会が多くなる同時に、火災の発生も多くなります。火災の発生原因は、相変らず「た

待望の稗田橋が完成

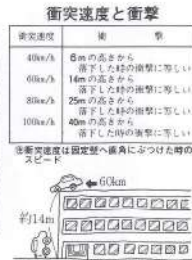


第八地区（稗田）と第九地区（植木）の間を流れる年見川に、稗田橋が完成し、去る十月一日渡

ばこが上位をしめ、風呂の火の不始末、ストーブのつけっぱなし、油などによるもの、子どもの火遊びなどが多いようです。これらは、火を取り扱う人たちの不注意によるものです。貴重な財産を火災から守るために、火の取り扱いには十分注意しましょう。



花の種子とチラシを配布し、シートベルト着用を呼びかける関係者。着用率は64.2%とまだまだ低いようです。



年末の交通事故防止

年末のあわただしさは、一年のしめくりを感じさせます。また、年末は忘年会などで酒を飲む機会も増えます。

ドライバーにとって最も注意しなければならぬのが飲酒運転です。ちよつとでも酒を飲めば自制心が失われ、運動機能や知覚機能が鈍くなり、死亡事故につながります。乗るなら飲む、飲んだら乗るな」を実践しましょう。

充実した老年期を過ごそう 老人クラブ大会



町老人クラブ連合会(会長栗野 喬夫、会員一千六百名)は、去る十月十日町体育館で第二十一回の老人クラブ大会を開催しました。当日は生憎の雨にも拘らず約八百名が会場に詰めかけました。この大会は、高齢化社会へと加速の度を増しているなかで、老人を取りまく諸問題を認識し、充実した老年期を過ごそうというものです。

まず栗野会長が「私たち老人クラブ会員相互の連帯を深めるとともに、組織の充実と老人福祉の向上を図ろう」とあいさつし、引き続き

き、老人クラブの組織育成に貢献された永年功労者四名と、わたくし老人介護者六名が表彰されました。その後、アトラクションとして、日の出の歌や踊りが披露され、参加者から盛んな拍手が送られていました。

尚、表彰者は次のとおり(敬称略)

- 老人クラブ永年功労者
 - 浜兼雄(山王原) 石坂綱雄(上米)
 - 宮原(天)(東原) 谷山藤二(東原)
 - わたくし老人介護者
 - 丸田よし(東原) 東村和往(寺社)
 - 池田スギ(山王原) 向田実儀(山王原)
 - 福重タメ(前目) 村中ハル子(二原)

福祉スポーツ大会 盛大に開催



社会福祉協議会が主催する、福祉スポーツ大会が、十月十日武道体育館で盛大に開催されました。民生委員、老人クラブをはじめ老人ホームなどから約一千名が参加。競技は団体を主体に行われ、さわやかな汗を流していました。



日中友好「九州青年の船」に参加して

町青年連合会長 川畑 正博

私は、去る八月三十一日より九月十三日までの十四日間、九州八県が主催する「九州青年の船」に参加しました。

この事業は今年で十三回を数え、第三回からは日中の国交正常化に伴い、中国への訪問を続けているという事です。

私達の中国での行程は、上海→無錫→上海→天津→北京→天津の順に訪問しました。各都市では、学校、幼稚園、工場、人民公社などを参観し、それぞれの説明を受けました。

その中で、特に印象に残ったものは、幼稚園児の輝く目と人民公社でありました。

人民公社は、一つに十数万の人々が働き、生活するという、日本で言えば地方都市ぐらいの規模があり、その中に、病院や学校がいくつもあって、そのほとんどが無料で利用されている事です。



万里の長城

私達は、その他にもいろんな所へ行きました。そんな中で、一番強く中国を感じたのが、やはり万里の長城でありました。

私は、今回の事業に参加して特に、感じたことは私達は、恵まれた過去を考へず、他人を思いやり、中国の人びとが、まだ失っていない素朴な心を持ちたいと思いました。

最後に、今回、私にこのような研修の機会を与えて頂いた関係諸氏に深く感謝すると共に、地域発展のために精一杯頑張りたいと思います。

身体障害者福祉週間12月9日～15日まで
まず、ひと声かけてから手助けを

覚せい剤から暮らしを守る

白い粉——暴力団の資金源となっている覚せい剤は、悪質・巧妙な手法によって、最近では一般住民にまでも、なかでも青少年や主婦にまで広がっており、その被害は、家庭、職場にまで及んでいます。そして、覚せい剤中毒者による凶悪な犯罪や事故が後を断らません。

覚せい剤の乱用は、個人を、家庭を、そして社会を破壊します。私たちは、何がなんでも覚せい剤から日々の暮らしを守らなければなりません。そのため、甘い言葉に誘われないよう十分注意しましょう。



ちょっとした留守でも戸締りを

年 末 防 犯 お宅は大丈夫 必ず戸締りを

空き巣ねらいは、家に侵入して四、五分もあれば、「ひと仕事」を終えるといわれるほど素早い犯罪です。これから年末をひかえ、あわただしい中で、「つい「カギ」のかけ忘れや、戸締りのしていないところがねらわれます。



認めあおう——基本的人権

民主主義のなかで人間が築きあげてきた基本的人権は、それぞれの時代に入らびとの共通の願いを表現するカタチで、豊かなものとなってきました。それは、自由、

雇用保険 制度を正しく理解して 有効な活用を

雇用保険は、失業した場合に、その間の生活と仕事探しを援助するものです。

つまり、積極的に就職しようとする意欲と、就職できる能力があり、実際に仕事探しをしている人に限って、雇用保険は支給されるものです。

しかし、このような雇用保険の制度の趣旨に反して、就職してい

るのにその事実を届け出ないなどのやり方で雇用保険を不正に受ける方が後を断ちません。

雇用保険を不正受給されますと、不正に受給した金額の二倍の額を納めなければならないとなったり、詐欺罪などにより処罰されたりすることもあります。

雇用保険はルールを守って正しく受給しましょう。

● 不正受給の情報は、左記へ連絡ください。

都城公共職業安定所
電話二二一七四五

同和問題を正しく 理解しましょう

今日の日本は、民主主義国家といわれながら、いまなお、日本国民の一部の人びとが同和地区出身者というだけで、経済的、社会的、文化的に差別をうけ、憲法で保障されている基本的人権が侵害されているという、深刻で重大な社会問題があります。これが同和問題です。

同和問題の早急な解決は、国や地方公共団体の責務であるとともに、国民的課題であり、県内でも地域改善対策事業が進められ、住民への啓発も行われています。

このようにして、人間が人間として尊重され「差別のない明るい社会」をつくりあげていくためには、なお、一層、住民の皆さん一人ひとりに同和問題を正しく理解し認識していただくことが、何より大切です。

事と考えたり、それを表現することのできる「心の自由」や、住む場所を自由に選ぶことができ、各人が自由に職業を選んで活動できる「経済上の自由」などの自由権の基本権です。

「人間らしく生きる」ためには、文化的で健康を暮しができることも必要です。そのためには、教育をうけることや、働くことができ権利が重要になります。

そして、これらの権利が特定の人びとだけではなく、すべての人の暮らしの中に、平等にあることが、とても大切なことです。憲法は人種や肌の考え、性別やどんな家に生まれたかなどによって、差別されないことを、はっきりと記しています。

私たちは、お互いが人間としての基本的人権を尊重し、差別のない明るい社会づくりに努力する必要があると。

町の



青少年を健やかに

青少年の非行や犯罪が9月以降激増し社会的に大きな問題となっています。そこで、町青少年育成町民会議委員会と補導員による合同会議が、去る10月25日中央公民館で開かれました。

会議は、補導活動の反省が行われた後、青少年育成強調月間の実施や非行の現状と対策について、活発な意見が交換されました。私たちすべての住民が、青少年の健全育成について正しい理解と認識を深め、我が子と同様に他人の子にも注意し合い、青少年の健全育成に努めましょう。

活動の在り方を研修

PTA研究大会

町PTA協議会(会長福永克昭)は、「子どもの健全育成をめざして」をテーマに、去る10月28日勝岡小で研究大会を開催しました。

開会行事では、PTA活動に貢献された方々の表彰が行われた後、都城警察署防犯少年課長藤木淳司氏が「子どもの健全育成をめざして」をテーマに、講演され参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

尚、表彰者は次のとおり
山元勝博(三股小) 西田敦男(勝岡小) 中原正一(宮村小) 神崎りよ子(樺山小)
馬渡穂久(長田小) 幸田功一(三股小)



国民年金制度の仕組みについて

研修会開催

本町(福祉生活課)では、国民年金制度の仕組みを理解してもらうため、去る10月16日第8地区を皮切りに地域ごとの研修会を開催しました。

研修会は、まず映画「今日そして明日」を鑑賞した後、都城社会保険事務所と県国民年金課企画係長森康博氏を講師に招いて、年金制度の仕組み(強制、任意加入者、保険料、受けられる年金の種類と年金額など)、保険会社が行う個人年金との相違点などについて説明が行われ、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



団技でさわやかな汗 老人ホーム運動会

老人ホーム清流園(園長指宿俊彦・入居者49名)の運動会が10月3日園庭で開かれました。

当日は、晴れ渡った青空の下で入居者と、その家族をはじめ、応援に駆けつけた園児(わかば・りんどう保育園)たちなど約100名が参加して、団技(ビン倒し・ボール運び)やかけっこに楽しい1日を過ごしました。特に入居者によるマネキン人形や園児たちのゆうぎ、マーチングには盛んな拍手が送られていました。



話 題

来年2月末完成を目指し工事中 唐橋住宅

唐橋公営住宅は、去る8月1日着工以来、天候にも恵まれて工事も順調に進み、来年2月末には完成の予定です。これは2種住宅(和室6畳2室、洋間6畳程度1室、台所、浴室など)で、鉄筋コンクリート4階建となっており、建築主体工事9,600万円、電気設備工事780万円、給排水工事1,161万円を投じて建設されています。

ほかに、団地内舗装や植栽、合併処理なども整備される予定であります。尚、3月には16戸が入居できる見込みです。



長い間ご苦労さまでした

退職消防団員に感謝状

町では、この程、消防団を退職された16名に感謝状を贈りました。

今回の退職者は、5年から31年もの長い間、消防団員として日夜を問わず地域住民の生命財産の安全保護に尽力された方々です。

多年のご苦労に感謝いたしますとともに、今後のご精進をお祈りいたします。退職者は次のとおり

- 大久保義直(山王原) 清水一夫(仰町) 高橋峰夫(樺本) 渡主 勉(樺山)
- 中田 勉(米) 鈴木治夫(樺山) 安田義家(田上) 永井和洋(樺山)
- 藤嶋 裕治(牛久) 前田和男(下新) 松原幸一(上野) 大塚和泰(上野)
- 山元 尚美(上 新) 山元凱雄(下新) 佐澤壽男(下新) 柳橋一彦(上野)

陸上記録会で親睦を深める

晴天に恵まれた10月15日、町内の小学校5・6年生612名による陸上記録会が、旭ヶ丘運動公園陸上競技場で開かれました。これは運動記録の実態を把握し、今後の体育技能と体力向上を図るものです。尚、成績は次のとおり(1位のみ、○は大会新記録)

種目(m)	男子	女子	男子	女子
100	伊藤一朗(三股小)	大村真実(三股小)	外島幸二(勝岡小)	○藤原聖(勝岡小)
200	山下 毅(三股小)	上野幸子(宮村小)	藤原正史(勝岡小)	○松浦佳実(勝岡小)
1,000	大村真実(三股小)	○松浦佳実(勝岡小)	今村英人(勝岡小)	木野野実(長田小)
走り幅とび	伊藤一朗(三股小)	松浦佳実(三股小)	山崎康彦(宮村小)	○山田直美(三股小)
走り高とび	—	—	長尾康彦(樺山小)	○梶野智子(三股小)
400リレー	○ 三股小	三股小	勝岡小	勝岡小



しめやかに戦没者慰霊祭

第二地区遺族会

第二地区遺族会(会長 畑中キミエ)では、去る10月12日樺山祖廟殿(納骨堂)で、戦没者慰霊祭を開きました。これは先の大戦で亡くなられた、123柱の霊を慰めるものです。

開会に続き30秒間の黙とうを捧げた後、読教の流れるなかで、関係者や遺族など次々に焼香を捧げました。その後、町長が「今日のめざましい発展は、祖国のために尊い生命を捧げられた諸霊の限りない御加護の賜であります」と慰霊の辞を述べ、御霊の安らかな眠りを祈りました。



おしらせ



やさしさを集めて
明るい社会を

共同募金運動12月31日まで

人間関係のトラブルが起きています。
同じ人間でありながら、不当な待遇や扱いを受けている人びとが、まだまだ大勢います。また、私たち自身も、こうしたトラブルの加害者や被害者になりかねません。そこで、私たちは人権をめぐるトラブルを解消するため、この機会に人権尊重について話し合ってみましょう。

一方、基本的人権思想の普及としての重点目標は、人権の共存——互いに相手の立場を考慮して、豊かな人間関係をつくらう——です。

- ◎このほか強調事項としては
- ◎部落差別をなくそう。
- ◎婦人の地位を高めよう。
- ◎障害者の完全参加と平等を実現しよう。

尚、人権が侵されたり、侵されるおそれがあるとき、そのほか家庭内の問題、借地、登記、金銭貸借問題など、いろいろなことでお困りの方は、次のとおり人権相談が行われます。相談は無料で秘密は固く守られますので、遠慮なくご相談ください。

- ◎日時 十二月十日(月曜)
午前九時～午後二時まで
- ◎場所 町老人福祉センター

私たちの身の回りには、婦人、障害者、家庭内、隣近所のもめごとに至るまで、さまざまな差別や

差別やトラブルのない豊かな人間関係をつくらう。

人権週間 12月4日～10日

狩猟事故を防ごう

11月15日～2月15日まで
今月も十一月十五日から来年二月十五日まで、狩猟解禁となりましたが、例年、この期間中には、猟銃所持者の基本的な注意と義務

を怠ったために、猟銃による人身事故が発生しています。銃の取扱いは、ひとつ誤れば大きな事故につながりますので、細心の注意を払らい、安全で楽しい狩猟期にしたいものです。

愛の「寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。誠にありがとうございます。有意義に利用させていただきます。

昭和三十九年八月二十一日から昭和三十九年十一月十五日まで	寄付者	続柄	故人名	地区	金額
	黒木 文(夫)	茨司	梶山	二万円	
	柳橋 宗秋(父)	政教	藤岡	二万円	
	成山 ワイ(子)	利雄	下新	一万円	
	小右キエ(夫)	春義	小新一万円		
	木下 静雄(子)	利春	中東	二万円	
	今村 ミキ(姉)	姉木	新原	二万円	

12月の納税 保険税 第4期分

1月は県町民税第4期

保険税第5期分の納月です

三股町人口

昭和59年11月1日現在

人口18,526人 出生24人
男 8,755人 死亡12人
女 9,771人 転入64人
転出63人

世帯数 5,773戸

前月比+13人

中山 フク(夫)	一	上米	二万円
西村 行雄(母)	イク	新原	一万円
野崎 ツキ(義母)	ケサラ	寺住	二万円
木重直春(母)	アキノ	下新	二万円
時住 ナル(夫)	秀国	東原	五万円
東中 勝子(義母)	シケ	小サ	二万円
原田 シズ(夫)	栄一	上米	二万円
小牧 シツ(夫)	信雅	山土原	五万円
村中キエ(夫)	清	三原	三万円
下沖チエ(夫)	定盛	今市	三万円
榎原 敏夫(妻)	知	梶山	十万円
本村 春夫(母)	ナカ	田上	二万円
友田 行郎(弟)	正則	藤岡	一万円
倉元ル子(夫)	善市	豊池	二万円
櫻元 導子(夫)	勝善	樽田	一万円
藤原キエ(夫)	勝美	豊池	一万円